

OS-7 「人と環境にみる高次元のデータフローの生成と解析

「マッシュデータフロー時代の理論とは？」招待講演  
Invited talk on OS-7

テンポラル・ネットワークとその解析

増田 直紀 <sup>\*1</sup>

<sup>\*1</sup> 東京大学 情報理工学系研究科

概要

近年、計測技術の向上などを背景として、人と人がいつ、どのくらいの長さだけ相互作用するか、という「テンポラル・ネットワーク」のデータが急速に蓄積されつつある。また、類似のデータは人の社会行動以外の文脈でも記録されるようになってきている。しかしながら、その解析手法の開発はまだ十分でない。本発表では、テンポラル・ネットワークとそのいくつかの解析手法を紹介し、課題、今後の展望などについて述べる。

参考文献

- [1] 増田直紀.  
なぜ3人いると噂が広まるのか.  
日本経済新聞出版社(日経プレミアシリーズ)(2012).
- [2] 増田直紀, 今野紀雄.  
複雑ネットワーク—基礎から応用まで.  
近代科学社(2010).

---

連絡先:  
増田 直紀  
東京大学大学院情報理工学系研究科数理情報学専攻